

◇天位

進路とは夢への距離と感じたり夢遠くなる中二の冬よ

弘前・新和2 伊澤 華



◇地位

雪が降る花弁のようにゆつくりと冬でも華は満開になる

弘前・第二3 石川ひまり

◇人位

りんごも母がよした手かこには家族みんなの幸せがある

弘前・第一2 須藤 悠利

◇秀逸

ちらちらと降りゆく雪が輝いて手をかざしても光がとどく

弘前・津軽2 玉田 愛奈

ペタルこぐ君と一緒に進む道はかに見える海をめざして

弘前・第一2 笠井 誠太

わからない見れば見るほど複雑に机

頑張って夢実現したい

将来の夢である保育士になるには資格が必要で、たくさん勉強をしないとダメだと分かったときの気持ちを詠んだ。子どもと遊んだりするのが好きだし得意なので、もっと頑張って夢を実現させたい。かなえたらもう一度、その時の気持ちを短歌にしたい。

雪を踏み音新しい朝の道今日という日がひりひり痛い

三沢・堀口1 坂本 春菜

通知票同じく並ぶ子どもたち仲間はずれはつくりたくない

五所川原第一2 黒籠 紗良

降る雪を見つめるばかりの冬休み積もっていくのは宿題の山

三本木高付2 苦米地琉生

寒くてもふぶいていてもこの山を歌とともにすべりつづける

六戸1 松嶋 晏輝

寂しさにイヤホンつけて曲聞けば空舞う雪もリズムに乗って

弘前学院聖愛3 斎藤 佳斗

肌をさらし耐え忍ぶ冬見渡せばりんごの木々が寒そうに木肌をさらし耐え忍ぶ冬

弘前・新和3 工藤 蘭菜

冬の朝音なき世界につつまれてそと始まる新たな一日

南部3 尾刀 夢乃

空席が教室に一つその場所で会いたかった友のほほえみ

三沢・堀口1 安田 櫻

牙えわたる氷の大地ふみつけて見えぬ未来にアクセルジャンプ

三沢・第一2 種市 晃大

色々な車のカタログ手に取って心は走る未来への道

六戸3 田中 轟

暖かい陽を浴びながらまったりと一

人(で)過(す)春の縁側

階上・道仏3 重文字勇吹

朝焼けと海を見つめる君の顔ただひとときの淡い夢かな

つがる・森田2 秋元 朔

弟にせがまれ遊んだソリのおと二人いっしょにしもやけになる

弘前・新和2 山上 星空

絵筆よりすすむ友との語り合い夕焼け時の大事な時は

三沢・第一2 大橋千懐子

勉強はがんばったけども成績に比例しないのどつても不思議

つがる・木造2 坂本京之輔

ペンシルの芯まじめてふと気付くテスト勉強無我夢中だ

八戸百2 松本 戒斗

見て聞いているはしやきまわった三日間熱が出るのも一生の思い出

おいらせ・下田2 中川 道大

【評】「天位」「夢への距離」に静かな情熱がにじむ。大丈夫、あきらめないで。「地位」雪を花に置き換えて、一首に詩情を吹き込んでい

る。「人位」手かこいっはいの幸せ。家族に寄せる想いの温かさ。「秀逸」①透明感をたたえた雪の描写に感性が光る。②まっすぐ突き進む姿に青春の息づかい。③難問に頭をかかえる作者が見えるよう。④閉じ込められた秋の旨みかぶどうの一粒一粒に。⑤憂きつな気分から青春の屋根へ。結句の転換が見事。

暖かい陽を浴びながらまったりと一

六戸3 田中 轟

色々な車のカタログ手に取って心は走る未来への道

三沢・第一2 種市 晃大

牙えわたる氷の大地ふみつけて見えぬ未来にアクセルジャンプ

三沢・堀口1 安田 櫻

空席が教室に一つその場所で会いたかった友のほほえみ

三沢・堀口1 安田 櫻

無視しても反抗しても母は言う生まれてくれてありがとねと

三本木高付2 小島あやめ

寝つくまで不安や後悔におそわれて明日が怖い受験生われ

三沢・堀口3 沼畑 明奈

真夜中に頭を冷やし見る月は不安も白い息に消えさり

南部3 堀野 怜生